

トロール網に対するズワイガニ類の行動

漁業生産工学部

(協力: 東北区水産研究所八戸支所)

研究の背景・目的

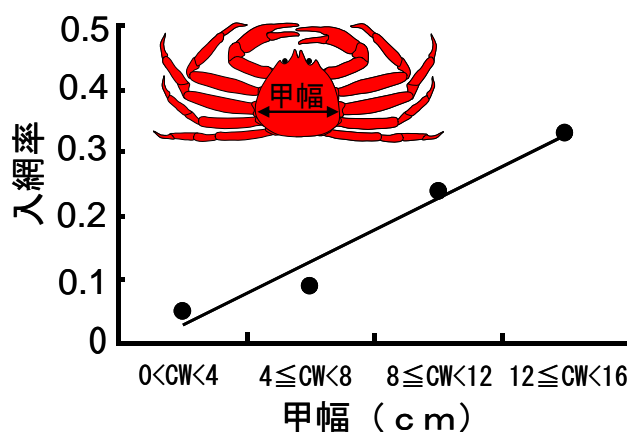
1. トロール網を用いたズワイガニ類の資源量推定の精度向上のためには、漁獲効率の推定が必要。
2. 一般的に、トロール網に対する生物の行動は漁獲に大きく影響する。
3. 漁獲効率に関する基礎的知見を得るため、トロール網に対するズワイガニ類の行動を観察した。

研究成果

1. ほとんど(94%)のズワイガニ類はトロール網が接触するまで動かなかった。
2. 大きいズワイガニ類ほど入網しやすかった。
3. ズワイガニ類に対するトロール網の漁獲特性が明らかになった。

波及効果

ズワイガニ類の資源量推定の精度が向上し、資源管理に役立つ。



※漁獲効率: トロール網が通過した範囲にいる生物のうち、実際に漁獲された生物の割合

※入網率 = グランドロープを乗り越えたズワイガニ類の個体数 ÷ 全観察個体数

(漁法研究室・藤田薫)